

令和4年10月13日

各研究機関の長 殿  
各 位

北海道大学触媒科学研究所長  
清水 研一  
【公印省略】

教員の公募について（依頼）

時下 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究所では、下記の要領により教員を公募することとなりました。

つきましては、貴機関関係者にご周知いただくとともに、適任者の推薦についてよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 募集人員 助教1名（任期5年，審査のうえ再任1回（5年）あり）
2. 所 属 触媒理論研究部門（教授 長谷川 淳也）
3. 専門分野等 触媒理論。理論計算科学分野の研究能力と実績を有し，実験グループとの共同研究に基づき，新しい触媒概念を開拓する研究に意欲のある方。
4. 採用予定日 令和5年4月1日以降のできるだけ早い時期
5. 応募資格 博士の学位を有するあるいは取得見込の者（応募時に学位を有せず取得見込みの場合は博士号取得見込み証明書等を添付すること）
6. 試用期間 あり（3カ月）  
詳細は国立大学法人北海道大学職員就業規則第10条参照  
[https://www.hokudai.ac.jp/jimuk/reiki/reiki\\_honbun/u010RG00000447.html](https://www.hokudai.ac.jp/jimuk/reiki/reiki_honbun/u010RG00000447.html)
7. 勤務形態 専門業務型裁量労働制を適用  
\*1日に7時間45分労働したものとみなす
8. 給 与 国立大学法人北海道大学年俸制教員給与規程等による
9. 健康保険等 厚生年金保険，文部科学省共済組合，雇用保険，労働災害補償保険
10. 募集者の名称 国立大学法人北海道大学
11. 受動喫煙防止措置の状況 特定屋外喫煙場所を除き，敷地内禁煙
12. 選考方法 触媒科学研究所教授会の議を経て決定します。  
ただし，適任者のない場合は，決定を留保することがあります。
13. 提出書類 (1)履歴書：様式は自由ですが，応募者の写真，生年月日，国籍，現住所，勤務先住所，電子メールアドレスおよび電話番号，学歴（高等学校以降），学位（取得大学名と取得日），その他

の資格（研究遂行上重要なもの）、職歴を記載のこと。（様式サンプルをホームページからダウンロードできます。）

（注）平成25年4月1日以降、北海道大学に在職経験（非常勤講師、TA、TF、RA、短期支援員等すべての職種を含む）のある者は、当該職歴を漏れなく記載すること。

（2）研究業績等：様式は自由ですが以下の項目について記載のこと。a) 原著論文（査読付）、b) 特許、c) 総説・解説、d) 著書、e) 招待講演、f) 競争的資金取得状況、g) 研究分野（二つ以内）、h) 学会賞・学会その他の活動等（様式サンプルをホームページからダウンロードできます。）

（3）現在までの研究の概要（A4サイズ2ページ以内）

（4）今後の研究及び教育に関する抱負（A4サイズ2ページ以内）

（5）本人について参考意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先

（6）主要論文のPDFファイル（3編以内）

14. 応募期限

令和4年11月28日（月）必着

15. 応募書類  
提出方法

JREC-IN Portal から「WEB 応募」にて応募書類を受付けます。

- ・応募書類の PDF ファイルを一つの Zip ファイルにすること。
- ・ファイル名は「氏名.zip」とすること。
- ・Email や郵送での受付はいたしません。

作成した Zip ファイルを、以下の JREC-IN ポータルサイトから電子申請してください。

[https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D122100634&ln\\_jor=0](https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D122100634&ln_jor=0)

※応募書類は原則として返却いたしません。なお、応募書類は教員選考の目的以外には使用いたしません。

※選考に際しては、必要に応じ面接を実施することがあります。面接に伴い交通費等が生じる場合は、自己負担となります。

16. 照会先

〒001-0021 札幌市北区北21条西10丁目

北海道大学触媒科学研究所 教授 長谷川 淳也

電話：011-706-9145

電子メール：hasegawa@cat.hokudai.ac.jp

17. その他

触媒科学研究所ホームページ <https://www.cat.hokudai.ac.jp/>

北海道大学は、多様な人材による教育・研究活動の積極的な推進に努めております。また、教育・研究活動と生活の両立支援も積極的に進めています。詳細については、下記ホームページをご参照ください。

（参考：ダイバーシティ・インクルージョン推進本部

<https://www.dei.hokudai.ac.jp/>）